

木の家ではじめる 新しい暮らし



玄関を兼用したギャラリーコーナーと和室。訪れた方々を楽しませてくれるギャラリーコーナーにはOさん製作のアートやお気に入りの作家さんの作品などが並んでいる。和室は友人などと着物の着付けなどを楽しむ場として活躍している。



右) 駐車場から玄関アプローチを眺める。格子状に建てた列柱とアイアンで製作した階段手摺がポイント。

左) 北側道路から見た外観。ガルバリウムの外壁に杉板で製作したベランダと板塀が雰囲気を出している。

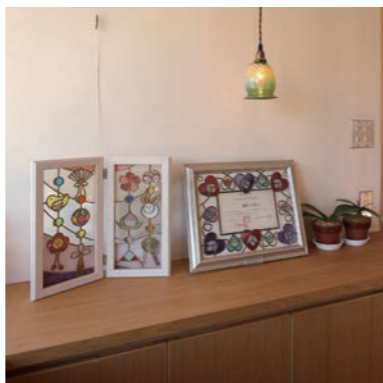
今回は昨年の1月に完成した、静岡市『器の家』にお伺いしてきました。数年前から家づくりの相談をいただき、計画道路との関係もあり一昨年からは具体的な設計がスタートしました。今まで住んでいた家は広く、それぞれの部屋もあったけど、子供たちも成長しこれからは自分たちの時間を楽しもうと考え、木に包まれた板倉の家をベースに、小さなギャラリーのある住まいを計画しました。それぞれに興味を持たれているOさんご夫婦、奥様はご友人などとアート作品をつくったり、着物を楽しんだり、ご主人は音楽や懐かしのグッズを集めたりと、それぞれが興味なお二人。自らが製作した押し花アートやガラスアート、ご友人の作品なども展示する場や着物の着付けをするための和室なども取り入れ、生活と趣味の時間が混在する楽しい木の住まいができました。

完成現場報告
静岡市／『器の家』
文・写真／コロラボ 山崎健治



上) 玄関や和室と打って変わって、広間をご主人好みの雰囲気にとどめられている。アイアンと木で製作したレコード棚にはぎっしりと懐かしのレコードや本などが置かれている。

右) ギャラリーコーナーに飾られた奥さんやご友人の作品。押し花アートやステンドグラスなど、その時々で展示作品を変えながら楽しんでいる。



ギャラリーコーナーには展示台と合わせて大きな窓を配置した。窓周りには通りすがりや訪問者にも楽しんでもらおうと考え、細かな工夫もされている。



ギャラリーコーナーは玄関収納を兼ねて展示台を製作した。L型に配置した展示台は広く、様々な作品が置けて華やかな場所になった。

生活と趣味を ミックスで楽しむ間取り

プランの中心になったのは、ギャラリーコーナーと着付けをする和室。暮らしの一部としても利用するため、生活動線なども考えながら玄関土間を利用して配置しました。飾りのための展示台は玄関収納を利用し、着付けの和室は仏間も兼ねてのミックスですが、コンパクトなスペースをうまく使って趣味を楽しむ空間をつくりました。玄関とギャラリーを兼ねたスペースには、外からも中の雰囲気が伝わるようにと大きなガラス窓を設け、作品を飾る棚やアイアンバーなどもこだわって製作しました。近所のおばあちゃんがかわいい作品を持ってきてくれ、これも飾って欲しいということかな？ と苦笑い…小さなギャラリーにだんだんと作品が集まっていく予感も感じました。玄関隣に配置した4畳半の和室は、廊下兼広縁の板の間とつながり、開放的な空間になりました。広縁には木枠で製作した全開放出来るガラス窓を設け、閉じたり開いたりしながら暮らしに合わせて利用出来る仕組みもつくり、生活と趣味を楽しむ場として二面性をもったスペースになりました。

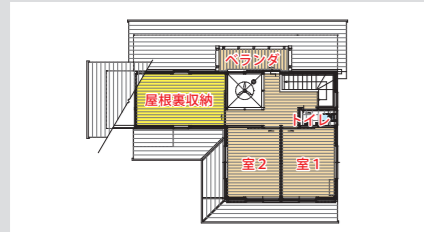
ギャラリーと和室が奥さんの趣味のスペースとすれば、広間はご主人お気に入りのスペース。アイアンフレームのレコード棚やオーディオセットが置かれ、落ち着いた大人の雰囲気…。元々は木でレコード棚を製作する予定でしたが、玄関手摺などの打ち合せで伺ったアトリエプラトリーさんの事務所にあった本棚に惹かれ、急遽、同じ仕様でレコード棚を製作してもらうことになりました。アイアンフレームのレコード棚に懐かしのレコードがぎっしりと置かれ、これだけでも立派なインテリアとしてOさんの雰囲気が感じられる空間が出来上がりました。

お気に入りの空間で 新しい暮らしをスタート

趣味を楽しむ空間が目惹くOさんのお宅ですが、吹抜けや新ストープのあるダイニングスペースも実用性と楽しみのある空間です。ご夫婦二人の生活を考えコンパクトなキッチンとしながらも、隣接した家事コーナーや収納が充実し、真泥さんのペンダントライトが楽しい雰囲気を出し、H・W・Fさんのダイニングテーブルがさりげない。建物の北側に配置した吹抜けですが、思っていたよりも明るく、穏やかな光がダイニングを明るくしてくれると喜んでいただき、また、青空に飛行機が通る様子が見えるのも何だか今までは無い光景で楽しいと話してくれました。吹抜けには新ストープの煙突が縦に伸び、2階ホールには

仕様内容

家族構成	家族4人
敷地面積	221.49㎡
建築面積	74.97㎡
延べ床面積	109.31㎡
構法	落し込み板壁構法(板倉構法)
屋根	ガルバリウム鋼板 タテハゼ葺き
外壁	ガルバリウム鋼板 角波縦貼り 漆喰コテ押え仕上、杉赤本実板縦張
外部建具	木製オリジナル建具 ナラ、タモ(ペアガラス) アルミサッシ(ペアガラス)
天井仕上	杉板本実張り 厚30mm・12mm
壁	青森ヒバFJ本実板張り 厚15mm 漆喰塗り、青森ヒバFJ本実板張り、 落し込み板現し
床	桧本実板 厚15mm、杉本実板 厚30mm
内部建具	オリジナル木製建具、葛布ガラス入框戸
キッチン	ステンレスヘアライン天板 オリジナルキッチン
洗面化粧台	TOTO 人工大理石天板 システム1オリジナル洗面化粧台
浴室	オリジナル浴室 300角サーモタイル貼 青森ヒバ貼
設計者	山崎健治
施工	有限会社ころも木造建築研究所
竣工	平成28年1月



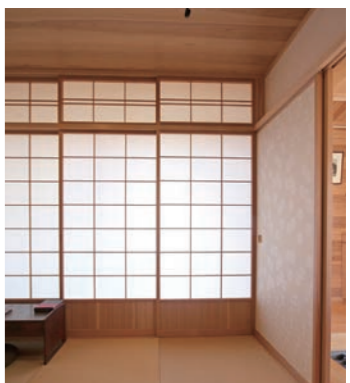
薪ストーブのあるダイニングコーナー。北側に設けた吹抜け窓から程よい光が差し込む空間。テーブルはHWFさん製作で天板と足が外れ、ローテーブルにも使える優れもの。



二の字型に配置されたキッチン。夫婦二人の生活を考えてコンパクトに設計されているが、階段下を利用したパントリーなどもあり収納力の大きいキッチンスペース。



Oさんの選んだ薪ストーブは少し珍しいストーン付き。側面の遮熱を兼ねて蓄熱出来る優れもの。



和室は障子と襖で仕切り、個室としても利用できる空間。開いた時とは違い落ち着いた雰囲気のと室もまたいい感じ。



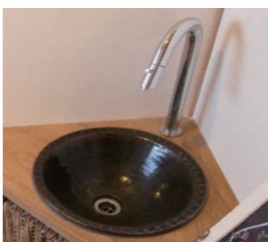
オリジナルの木のお風呂だが、腰タイルを一枚多く貼りいつもと少し雰囲気の違う浴室になった。



鏡収納と引出しを製作した洗面化粧台。設計当初からタイルの柄に悩み、サンプルを集めながら楽しんで決めた場所。

陶芸作家とのコラボで新しい試み

自らの作品だけでなく様々なクラフトに関心のある奥さん、クラフトフェアで出会った作家さんの作品に魅せられ、手洗い鉢を製作してもらうことになりました。カップやお皿とは違って手洗い鉢は排水金具などの絡みもあるため、何度か打合せをしながら製作していただき、味のある見事な手洗いになりました。今回製作していただいたのが京都舞鶴市に工房のある陶芸作家の真泥さん。このご縁がきっかけでその後も交流させていただき、『こらぼの家』のイベントで展示会を行ったり、社員旅行で工房を訪ねたりとスタッフ共々楽しいお付き合いをしています。自然素材を使った手づくりのクラフトは温かみがあり、私たちがつくる木の家とも相性バッチリ。何より製作者の顔が見え、想いや気持ちが伝わってきます。品質や性能だけでなく、つくり手の心が沁みこんだ作品はなんとも言えない安らぎを感じます。



真泥さんが製作してくれた手洗い鉢。土や釉薬の雰囲気がよく、木の家との相性も満足の一品。



こちら真泥さんの再作したカップ。様々な色があり、選びきれず7色集めたと奥さん。



京都舞鶴にある陶磁器製造工房「MUDDY 真泥」さん。オリジナルの土・釉薬を使用して西洋薪窯焼成によるしっかりと焼締まった器をひとつひとつ手づくりしています。

真泥 MUDDY 服部克哉
京都府舞鶴市桑飼下 142
HP: <http://muddyblues.com/>



ウツドデッキのペランダをつくりました。ここから見る静岡の街が綺麗で、特に安倍川の花火大会が楽しみと話していました。数十年前から話のあった計画道路がいよいよ決定し、周辺の様子はどんどん変わっていきます。家の前に綺麗な道が通り日当たりも良くなる反面、住み慣れた町が変わっていく寂しさも感じているOさんご夫婦ですが、家族や親戚、ご友人などに囲まれる場所に暮らす決心をしました。自然に囲まれる静かな場所に移住しようか？ 駅近くのマンションに暮らそうか？ など悩んだ時期もあったと伺いましたが、楽しみのある木の家を作ることが出来て良かったと喜んでいただきました。ご両親との同居や子育ての忙しい暮らしを経て、Oさんご夫婦にとって今また新しい暮らしが始まりました。まだスタートしたばかりですが、お気に入りの物に包まれながら暮らす毎日がとても楽しそうで、数年間に渡り共に計画してきた私としても嬉しくほっとしています。今後のお庭計画やギャラリーなども楽しみにして、また度々お伺いしたいと思います。